



- 若年性軽度認知症・高次脳機能障害デイケア（介護保険非適用）
- 地域学童保育
- ケアマネジメントセンター
- 土曜日プログラム
- ソーシャルスキルトレーニング
- ペアレントトレーニング
- 認知症介護相談事業（カフェ事業）

まどか * 円 * えん * 縁 * えにし * 縁 * えん * 円 * まどか

まどかという一つのプラットフォームを作ってから、お陰様で4年半が経過しました。たくさんの方々に出会い、支えられ、多少は癒されて乗り継いで行けた人達も居られたと思っています。

SNSなどという、便利だけれどどこか空虚なつながりが主流の中で「絆」と叫んでも、やはりどこか実質が感じられません。

まして、生きる事に走り続けている私達にとってみたら、なおさらです。

走る目的が何であれ、走りやすく道をならし、示し、合図と少しではあるけれど、エネルギーを送るのがまどかの役割だと27年度も考えています。

これからも、実体としてのコミュニケーション、対面販売を基本に活動して参ります。27年度もよろしくご支援ください。

ちかごろのまどか

日の暮れもだんだん遅くなって、春めいてきました。

裏の白梅はさっさと咲いて、既に散っています。

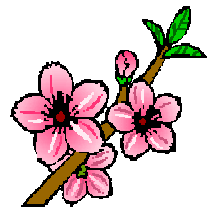
プランターに植えたチューリップも、芽を出し始めました。

土手の蒔や野蒜ももうすぐ出てきます。

何もしなくても季節は移ります。何もしなくても昨年と同じ所に

同じ植物は芽吹きますが、決して昨年とおなじものではありません。

地面を見ながら、そんなことを思っていると、利用者から不思議がられてしまいました。



ボランティア



まどかでは、いっしょに活動していただけるボランティアを常時募集しています。ともに地域福祉を拡げていきませんか？

宿題やパソコンを指導して頂ける方、楽しい遊びを提供できる方。

さらには、一定の条件の下で、児童の送迎ができる方等、お待ちしております。

お問い合わせは



[ホームページで！！](#)

『おのくん』

東日本大震災から4年が経とうとしているある日、『おのくん』に出会いました。

「カラフルモンキー『おのくん』は、宮城県東松島市「小野駅前応急仮設住宅」の人々の住処であった。東松島の復興を願って生まれた靴下を使って作ったキャラクターです。」

(おら、おのくんホームページより抜粋)

2年前、大学時代の友人と旅行をした際に、福岡に住む友人から「私たちが出来ることは何なんだろうね?」と、宮城に実家がある私を気遣ってくれた言葉をもらいました。自分がどんな返事をしたかは忘れてしまいましたが、何かをしたいと思いながら過ごしてくれている人達がいることに有難さを感じたことは覚えていました。

今年また、その時の友人たちと会うこととなり、2年前の友人の言葉を思い出した私は、お土産に宮城産の物をプレゼントしようとしていたところ『おのくん』に出会いました。

里帰りからの帰路、『おのくん』のホームタウンである「小野駅前応急仮設住宅」に立ち寄り、念願の『おのくん』をゲット。実は『おのくん』は人気者で、売り切れで購入できないこともあると聞いていたので、事前に電話で確認してみたら、やはり売り切れてしまったとのこと。「茨城に戻ってしまうので、どうにかならないか?」とお願いしたところ、「時間をもらえれば作ります」と言っていたが、なんとか手にした『おのくん』でした。

友人に『おのくん』をプレゼントしたところ、とても喜んで可愛がってくれています。ついでに、フェイスブックでいいね!してくれたり、ある研修会で紹介してくれたりもしています。

東日本大震災だけではなく、「まどか」がある北条地区を襲った竜巻もそうですが、突然、生活が一転してしまうような天災や災害は残念ながら起こりえます。いろいろな痛みを負った生活が少しでも穏やかになるためには、当たり前のことですが「生活の安全・安定」が基本かと思われまます。しかし、その「生活の安全・安定」がままならない状況が続いている人達もいるのが現状です。

「私たちが出来ることは何なのか?」、震災後に何度も聞いたフレーズですが、うちにやってきた『おのくん』を見るたびに素直な気持ちで自分に問いかけてみたくになります。



『おのくん』

学童保育部門

計画通り

学童保育のニーズが高いです。今年度は当初計画を上回る利用実績でした。

27年度も、今から問い合わせが来ていて、さらにまた「人口密度」が高まりそうで、まどかの中だけは、「多子化」しています。

4年も経つと、各家庭と同様、まどかにも色や空気が形成されています。ウェルカムでありながらも、なじめるなじめないは個性によるようです。

子育て支援制度が変わる中、27年度も、独自の運営を貫いていきます。ご支援ください。

就学後の特別支援学童保育も可能です

あらゆるニーズにお応えするのがまどかのコンセプト!

制度で対応できない発達期の支援
についてもお気軽にご相談ください。



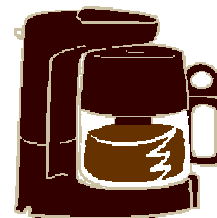
まどか土曜日プログラム&SST 今後の予定



毎回好評の土曜日プログラム。SSTやペアトレを含めて今後の予定は下記の通りです。
気になるプログラムがあれば、お気軽にお問い合わせください。

4月～ 6月 8月	SST及びペアトレを随時開催 作業療法士 浅井先生のプログラム まどか 自由研究支援プログラム	9月 10月 12月	アロマセラピー 作業療法士 松本先生のプログラム 久松さんのそば打ち教室
-----------------	---	------------------	--

若年性認知症相談&認知症カフェ事業



若年性認知症ケア事業・認知症カフェ事業・認知症介護相談事業

若年性認知症のため、自宅にこもりがちの方。既存の高齢者施設には抵抗感がある方。一度ご相談ください。

認知症予防は、いまや国民的関心事らしく、テレビでも雑誌でも目にしない日はないと言う感じです。まさに百家争鳴、何を信じれば良いのか分かりません。自分達に合っていると思うものを信じて採り入れれば良いのではないのでしょうか。

いつ起こるか分からないものにビクビクしているよりも、今を充実して、楽しく生活してみてもいいかたがたでしょうか？

何かを得ようとすれば何かを失うもので、全てに効果があるものなんてないと、たかをくくっていけば気が楽になります。万が一、認知症になってしまったら、その時は他人の頭を活用して生きていきましょう。

世の中、そんなに悪くはありませんから。

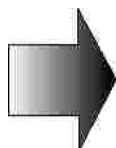
まどかの認知症介護家族支援事業では、在宅で介護されているご家族とともに来所頂いて、ともに見守ったり、好きな作業を行ったりして時間を過ごします。

どちらも、詳しいことは電話、ファックス、メールでお問い合わせ頂くか、ホームページでご確認ください。

お問い合わせ、お申し込みは、電話029-867-6117 もしくは下記番号まで。



こちらも
ご注目！



認知症介護相談事業を行っています！！
悩みや負担感を遠慮なくお聞かせください。

専用電話 029-867-5233

居宅生活支援事業も行っています・・・対象とする利用者の自宅を訪問しての支援です

軽度認知症の方のご自宅に訪問し、話し相手・散歩・病院の付き添いなど、いわゆる家事援助以外の支援を行い、利用者の「出不精」を緩和し、他人との交流のきっかけ作りを行います。詳しくはお問い合わせください。



介護保険サービスを利用されたい方に、ケアプラン作成及びサービス事業所との連絡調整を行います。

まどかサポーターのご案内



まどかのサポーター会員の方を募集しています。社会にある、福祉問題に関心がある方、活動に賛同して頂ける方は、是非仲間に加わってください。小さな地域の輪が、いずれ大きな運動につながることを確信して・・・継続が力です。

正会員・・・年一回の総会で表決権一票を持ちます・・・年会費 5千円
準会員・・・総会にて意見を申述できますが表決権は持ちません・・・年会費 3千円

(27年3月 現在 正会員 45名 準会員 24名)

会員特典！ 茨城県の観光名所、袋田の滝の入口、目の前にある『菊池みやげ店』さんのご協力で、会員証ご提示の方に、飲食時に特別サービス品をご提供頂けます。飲食しない方にも、おみやげ購入時にサービス品の提供が受けられます。奥久慈に行かれた際は、是非お立ち寄りください。



児童用図書やコミック・ゲーム・消耗品等のご寄付のお願い

ご家庭に眠っている、貴重な宝物を、まどかで是非活用させて下さい！皆さんの善意で成り立っているまどか、何でも構わないので、心当たりがあったらご連絡ください。カードゲームやコミック(ただし健全なもの)、VHSのビデオ(デッキごと)なんかありませんか？折り紙やクレヨンや色鉛筆などの半端なもの。塗り絵用の原画とか、「本読み」タイムに使える絵本や小学校低学年用の単行本など、捨てるくらいなら是非ご寄付をお願いします。



*** ゆめのあとさき ~編集後記~ ***

ここぞとばかりに、福祉に関わる制度や法律が変わります。一応福祉職である私達でさえ、頭の中が混乱していて、ともすれば思考停止状態です。もっとも、年々理解力が落ちていることも事実ですが、むしろ、利用者さんに教えてもらう場面もあったりして、冷や汗ものです。何年先を見据えた政策だとか、聞いた風なことを言ってますが、これまでの経験からすれば、やはりどこか場当たりの・追隨的なものを感じずにはいられません。支援を必要としている人が、何の負担も感じずに支援を得て、その人らしい生活ができる世の中は、この国では、人が生きていくうちに来るのでしょうか。それともやはり神の世界に足を踏み入れないとダメなのでしょうか。悩ましいところです。

文責 理事長 渡辺隆生 (つくば国際大学講師 社会福祉士)

NPO法人 まちなか交友館
まどか

特定非営利活動法人 まちなか交友館 **まどか**

〒300-4231 茨城県つくば市北条51-1
電話 029-867-6117 FAX 029-867-6118

ホームページ <http://www.machinakamadoca.org>
利用条件等はホームページでご確認ください